



戦争の真実を後世に継承し

平和な社会の実現を目指そう



76年前（1945年）の6月23日は、日本で唯一、日米両軍の地上戦が行われた「沖縄戦」の組織的戦闘が終わった慰霊の日です。沖縄の民間人「4人に一人が犠牲になった」といわ

れる沖縄戦は、戦争が終わってもなお深い傷跡を今日に残しています。

名護市・辺野古で行われている新基地建設に向けた埋め立て工事では、激戦地だった沖縄本島南部の戦没者の遺骨がまだ残る土砂を埋め立てに使用するという国の案が示されたことに対し、「沖縄戦で犠牲になった多くの方々の尊厳を踏みにじる行為だ！」として反対の声が上がっています。

【参考記事】

琉球新報：辺野古埋め立て土砂を南部で採取は「政府の暴挙」 遺骨収集ボランティアなどが批判 知事視察も求める(2021年2月16日)

沖縄タイムス：全国75.5%の人たちが知らなかった沖縄の「慰霊の日」
きょう沖縄戦から76年(2021年6月23日)

その一方では、時間が経つとともに当時の戦争体験を語る人たちも減少し、戦争の恐ろしさや悲惨さを後世に継承できなくなっているという新たな課題も浮き彫りになっています。

JTSUは「平和政策の実現」も重要な運動課題の一つとして位置づけています。今後は、議員懇談会や地域の皆さんと連携して、戦争の真実を後世に正しく継承し、平和な社会の実現に向けた運動を進めていきます。

■ご寄付のお願い■ (参考：ひめゆり平和祈念資料館 公式HPより)

ひめゆり平和祈念資料館は、ひめゆり同窓会を母体とする財団法人(現 公益財団法人ひめゆり平和祈念財団)が設立した民間の博物館です。

1989年の開館以来、ひめゆり学徒隊の沖縄戦体験を通して、戦争の悲惨さ、平和の尊さ、命の大切さを伝え、沖縄における平和学習の拠点として、多くの皆さまをお迎えしてまいりました。

公的な資金は受けておらず、入館料と皆さまからの御芳志に支えられております。

沖縄戦やひめゆり学徒隊の体験を伝える活動をさらに充実させ、未来へつなげていくため、皆さまのご支援をよろしくお願いいたします。なお、当館への寄付金は、税制上、寄附金控除(所得控除)の適用を受けることができます。



76年目の「沖縄戦」慰霊の日